

テニスコートを覆うエアードーム
25トンのクレーン車4台で支え空気を送り込む

スポーツの万博

国際スポーツフェア'83秋

盛況のうちに終了

第二業務部業務課

女子のプロテニス大会「クインズグランプリ」(九月開催)が優勝者への副賞として用意した、時価三万ドルのモーターボート(大会「クインズグランプリ」)

このテニスコート上では、場所も同じ、ここ代々木競技場の第一体育館での「サントリーカップ」(四月開催)で盛大な引退のセレモニーを行った、ピョン・ボルゲを呼びびテニスクリニックを行った。

このテニスコートについては、本誌58年2月号で紹介した通り、施設管理上ベストともいえるソフトケミカルコートの上に、更に人工芝(ロンターフ)を敷き、雨でも中止できないことからエアードームも設置、一般の観衆用に四五名程の仮設スタンドをコート

の巨大なエアードーム(高さ15メートル、長さ16メートル)をお馴染みプロ野球の

クリニックを予定していることから照明設備をも用意した。

前記、エアードームは、このスポーツフェアのシンボルカラーの赤、青、銀の三色に塗り分けられていたが、このシンボルカラーに統一されたテントが、通常、第一体育館、第二体育館の二つの体育館で知られる代々木競技場の他の施設、全敷地に50張り以上も設けられ、あらゆるスポーツ関連の品々を集め、人々の目にする機会が今回の「国際スポーツフェア」であった。(次頁図参照)

今回の催しを、もう少し紹介すると、前記テニスコートでは、ゴルフ教室にも使用され、日本の一流プレーヤーのゴルフクリニックも行われた。

この他、通常、バスターミナルとして貸切バスや乗用車の駐車場に貸出している場所が「渋谷プラザ」と名付けられ、同じく人工芝(アストロターフ)を敷き、ペレと並び称されたベッケンバウアーを招いて子供たちへのサッカークリニックを行った。

人工芝といえば、有料駐車場用地に、全体をすっぽりとかぶせたエアータントを張り、中に人工芝(スパックターフ)を敷き(16×16メートル)お馴染みプロ野球の

行事日程

	6日(木)	7日(金)	8日(土)	9日(日)	10日(月)	11日(火)
第一体育館	・オールスター大運動会	・チャレンジ・ザ・ギネス ・ジャズダンス大会	国際体操新体操演技会 懐しの金メダリスト全員集合	・バレーボール 全日本対ブラジル他	・室内陸上 ・夜のヒットスタジオ	・フェアウエルショー ドリフターズ
第二体育館	・スポーツファッションショー	・スポーツファッションショー	東京、札幌、ベルリン各オリンピック映画上映 ・スポーツファッションショー	・クレージュ スポーツウェアショー	・やまもと寛斎 スポーツウェアショー	・スポーツシンボジウム
原宿ロード 渋谷ロード	スポーツ関連商品見本市 (ショールームの開設、商品デモンストレーション、ミニイベントの実施)					
渋谷プラザ	・タクロウ(ゲートボール、グランドテニス、ヨット教室一日替り)					
テニスコート	(ボルグ撮影)	・テニス教室	・テニス教室	・テニス教室 ・サッカー教室	・サッカー教室	・サッカー教室 ・ゴルフ教室



会場内センタープラザ

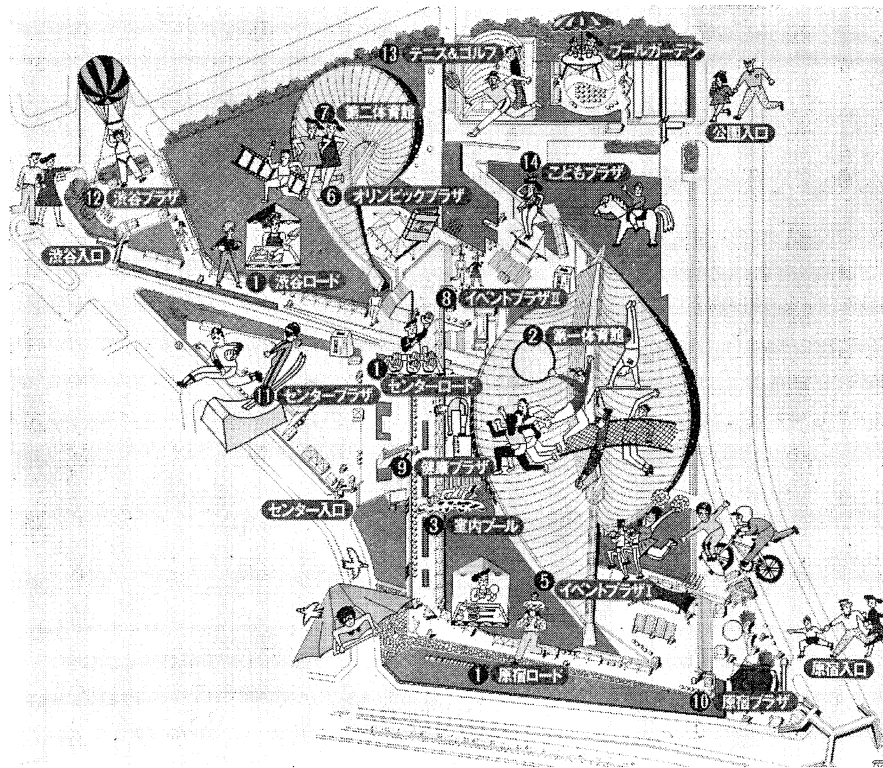


オープニングセレモニー

当初、この催しの話が、主催者の一つフジテレビから持ち込まれたのが今年の二月、我々には代々木競技場全体を使つてのイベントなど、いろんな意味で不可能と思えたが、主

ももちろん、第一体育館、第二体育館でも多彩な行事(10頁表参照)が組まれ、テレビによる中継もなされた他、屋外にも二ヶ所にイベント用ステージが特設され、音楽プログラムを中心に、集まった人々の目や耳を楽しませた他、電波を通じ、テレビ、ラジオで全国に流された。

名球会メンバーによる野球教室も行われ、子供たちの人気を集めた。このテントの隣りでは、スキージャンプ台(長さ20メートル)とゲレンデ(20×9メートル)が設置され、それぞれ妙技を展開していたのには驚かされた。



催者側の実施への強い意欲と情熱が、わずか半年の間に見事に実行に移され、わずか6日間の間に54万人(サンケイスポーツ調)にのぼる人々が、この代々木競技場へ足を運ばれたことに正直、驚き、スポーツの持つその魅力、素晴らしさに、施設管理者の一人として改めて考えさせられたが、この催しを十分に反省し、さらに半年後



(谷口 利文)

に予定されている第二回のスポーツフェアに生かしたいと思う。